

## 報告テーマ③[1841A]

### 二輪車文化を活かし、安全を基本とした ASEAN 地域の持続可能な交通まちづくりの提案

プロジェクトリーダー 土井 健司

#### (1) 研究目的と概要

ASEAN 地域の多くの国では、自家用車の普及後も自動二輪は利便性、快適性の高さから今もなお生活の足として重用されている。一方で全交通死亡事故に対する自動二輪関連事故は、タイ 74%、カンボジア 73%、マレーシア 62%と大きな割合を占めている。本プロジェクトでは、自動二輪の道路空間における位置づけや優先性(弱者—強者関係)を再考して、安全を基本とした持続可能な交通まちづくりの提案を目的とする。

初年度である本年度は、交通事故死亡率が世界で最も高いタイを対象に事故データの収集、事故状況の可視化、および現地で着用されているヘルメットの安全性の検証を行い、自動二輪の安全に関わる状況を把握した。

さらに、Web 上で訪日・滞日外国人への意識・行動調査を行い、母国での徒歩経験の乏しさによる「歩行者が交通弱者である」との認識の低さ、およびそれに伴う安全意識の低さが、自動二輪利用率の高い国・地域において顕著であることを示した。この結果を受け、自動二輪車から歩行を伴う公共交通やパラトランジットへの利用転換を促すための、安全性、ウォーカビリティの概念を取り入れた MaaS—LC (Local Context)を試作し、タイのプーケット島でのモニター調査を行った。

#### (2) 質疑応答

- Q. タイ人の交通安全の考え方は、日本人では理解できない部分もある。従って、日本で経験した交通対策をタイで実践した場合に、上手くいく例もあるが、上手くいかない例もあると思われる。それぞれの例を紹介してほしい。
- A. 研究の中では具体的な事例をタイに導入したということはない。また、日本で上手くいった事例をタイに持ち込みたいと考えているわけではない。例えば台湾の事例や韓国の交通慣習(公共交通のバスでさえ赤信号を守らないことがある)なども検討しながらオールアジアで考え、学び合うことが重要と思われる。

#### (3) 出席者の感想など(一部抜粋)

- It is significant that motorcycle users are regarded as "vulnerable road users" and that regulation is introduced to improve motorcycle safety.
- Motorcycle is an environment-friendly means of transportation, and for future promotion & development of motorcycles, "safety" is an essential factor. This research project is really useful, and I expect the outcome & achievement of this project.

- Knowledge & experience should be expanded to Southeast Asian countries. I believe "slow but continuous" efforts are the most important, and aiming for adaptation to respective countries will be the greatest challenge.